

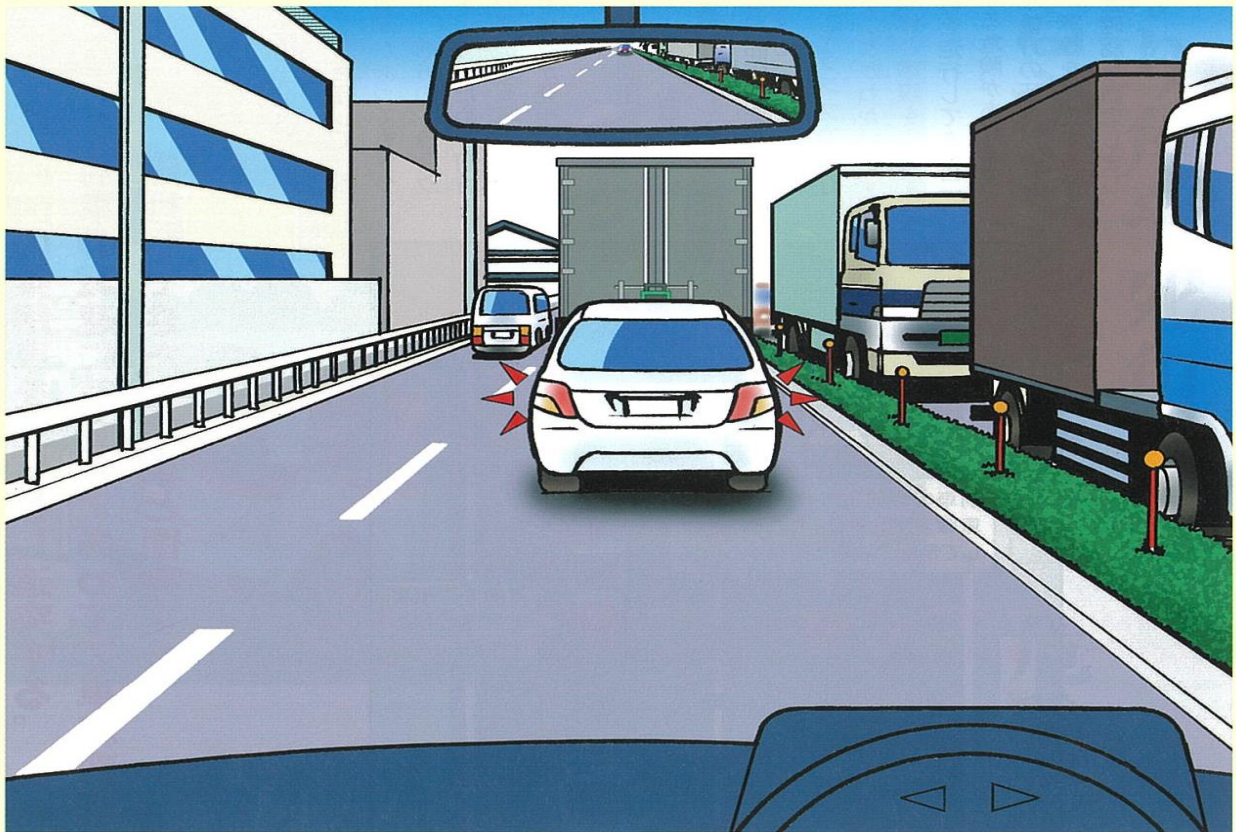
今月のKYT（危険予知トレーニング）

準中型トラックで交通量の多い片側2車線道路を走行しています。
前方にはトラックが走行しており、その先の状況はよくわかりません。
また、直前の車のブレーキランプが点灯しています。
自車はこのまま、進んでいきたいのですが……。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q KIKEN YOCHI TEST あなたはどのような運転をしますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名

1

2

3

知 予 危 険
ポ イ ン ト

- ① 直前の乗用車を見落とし追突する。
- ② 前車の減速に気づき、あわてて車線変更した際、走行してきた二輪車と衝突する。

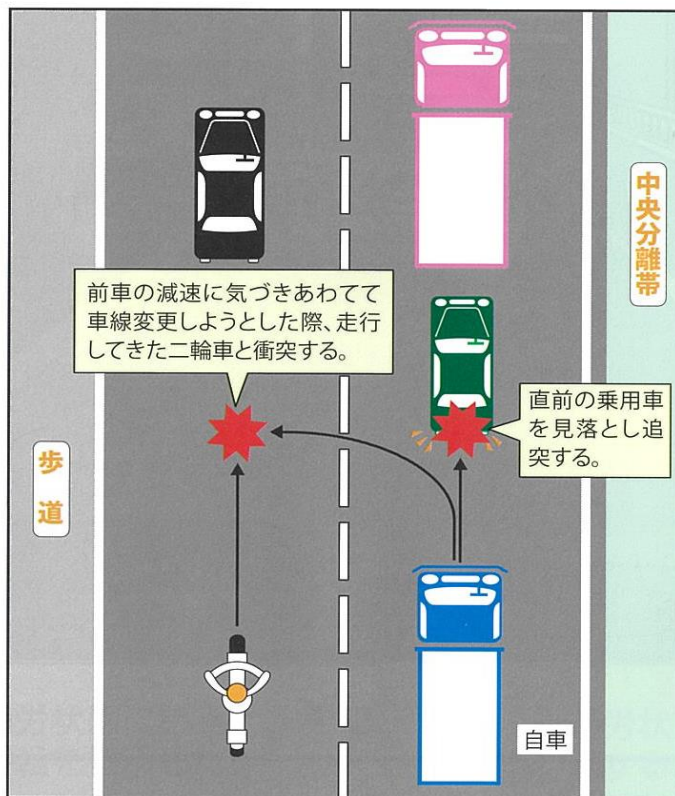
直前の乗用車を見落とさない

前方にトラックが走行している場合、直前に他車があってもドライバーの視線は、前方のトラックに向きがちです。そのため、前方のトラックとの間にいる車を見落とし、追突する事故が発生しています。

まずは前車との車間距離をしっかりと確保して、その動静を確認しながら慎重に運転しましょう。

前方だけでなく周囲の安全をしっかりと確認する

前車のブレーキランプの点灯から、減速することがわかります。停止を嫌い、漫然と車線を変更すると、隣の車線を走行してきた二輪車等と衝突する危険があります。トラックは左後方の死角がとくに大きいため、車線を変更する際には周囲の安全確認を徹底しましょう。



直前の乗用車を見落とさないよう車間距離をしっかりとること

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。